



松江第一中学校だより

江戸川区立松江第一中学校
江戸川区松江5-5-1
校長 瀬戸 完一
令和6年9月7日 第5号

すべての生徒が安全・安心に生活し、夢や希望に邁進できる学校を築く

2100年を考える

校長 瀬戸 完一

区の人口は、今後緩やかに減り続け、2100年には現在の人口の半分にまで減っていくと推計されています。区民の皆さんの暮らしを支えるためのお金が減り、これまで行ってきた行政サービスができなくなる恐れがあります。老朽化する建物をそのまま建て替えていくと、2100年には約8300億円の借金を抱える推計となっています。

(広報えどがわ 令和6年8月15日)

2100年にかけて、区の人口や財政規模が縮小していくという推計がある中、将来を担う子どもたちの意見を聴き、ともに未来を考える機会として「2100年の江戸川区に関するワークショップ」が8月20日に初めて開催されました。区内小・中学生121名がグリーンパレスに集まり、本校からも代表生徒2名が参加しました。江戸川区の未来を考え、自分たちができることは何かを子どもたちが考えるこの会では、斉藤 猛(さいとう たけし)江戸川区長が将来を担う子どもたちの意見を聴かれました。

江戸川区では「年齢や性別、国籍、障害の有無などに関わらず、誰もが安心して自分らしく暮らせるまちの実現に向けて、区の目指すべき未来を描いた『2100年の江戸川区(共生社会ビジョン)』が策定されています。ワークショップでは全体会後に小・中学生それぞれが8・9名のグループに分かれ、区職員の方が司会・サポート役となり2100年をどんな未来にしていきたいか、そのために自分たちができることを話し合いました。グループトークには斉藤区長も参加され、参加者からの意見を聴くなど児童・生徒との交流をされていました。参加した児童・生徒にとって、異なる考えを持つ人と対話し、互いを尊重し合い、課題解決に向けて力を合わせていく経験はかけがえのない時間となったのではないのでしょうか。最後にグループごとにまとめた資料を用いて発表をしましたので、その一部を紹介したいと思います。

<2100年理想の江戸川区>

- 安心、安全 ○明るく住みやすい ○元気 ○自然あふれる ○新しい特産 ○協力
- 住みたいと思える街 ○公共サービスの充実 ○地域活動に積極的に参加 ○施設を大切に
- 花火大会やお祭りがある ○高い教育水準 ○魅力ある区 ○子育ての充実 ○災害対策

<理想の江戸川区を実現するための行動>

- いじめ、差別のないこと ○区をよく知り、魅力を伝える(SNS等) ○太陽光パネルや自給自足
- 自分たちの力で区を支えられるようにする ○地産地消 ○交流を深め、共に考える
- 遊具や施設のルールを守る ○協力して安心な街にする ○魅力あるイベントづくりと発信

現在と未来に向けて、自らの人生をどのように拓いていくことが求められているのでしょうか。中学校生活でも自分自身で体験しながら、考えて、初めてわかることもたくさんあります。困難なことがあっても挫けずに乗り越え、挑戦を続けることにより自分の可能性を広げてください。それぞれの夢の実現を目指し自らを高め、学びを通じて豊かな人間性を育みながら、ともに生きる未来の明るい社会を創造する担い手として活躍してくれることを願っています。